

中間市個別避難計画 作成の手引き

令和6年6月 作成

1 個別避難計画とは

災害が発生し又は発生するおそれがあるときに、避難行動要支援者の方が避難できるように「基本情報」「緊急連絡先」「支援する人」「避難経路」等を記入し作成する避難支援のための計画です。

Q なぜ個別避難計画の取組を進める？

近年の災害において、多くの高齢者や障がい者等の方々が被害に遭われており、避難支援等を実効性のあるものとするためには、個別避難計画が有効とされ、令和3年に避難行動要支援者の、個別避難計画の作成が、市町村の努力義務とされました。

2 計画作成の対象者

個別避難計画は、避難行動要支援者名簿に掲載されている方が対象となります。

Q 名簿の対象者は？

要介護度3以上の在宅生活者

身体障がい者（身体障がい者程度等級表1級及び2級の者）の在宅生活者

知的障がい者（療育判定基準A判定の者）の在宅生活者

精神障がい者（精神障がい者保健福祉手帳1級及び2級の者）

Q 名簿の対象者は全員個別避難計画を作成する？

長期入院中、特別養護老人ホームなど、災害時に管理者による避難支援が可能な施設等に入所中の方や避難行動が可能な方や近隣に親族が在住しているなど、災害時に地域の避難支援者による支援が必要でない方は対象外です。

3 作成方法

記入例を参考にご記入ください。

記入例

な か ま し こ べ つ ひ な ん け い か く と う ろ く し ん せ い し ょ ど う い し ょ
中間市個別避難計画登録申請書・同意書

新規 変更

ふりがな 氏名	な か ま た ろ う 中間 太郎	生年月日	大・昭・平・令 ○年○月○日 (○○歳)
住所又は居所	中間市中間一丁目1番1号		性別 <input checked="" type="checkbox"/> 男・女
連絡先	<input checked="" type="checkbox"/> 電話番号 090-1234-5678		
	<input type="checkbox"/> メールアドレス		
	<input type="checkbox"/> FAX		
避難支援 が必要な理由	<input checked="" type="checkbox"/> 身体障がい 1、2級 <input type="checkbox"/> 療育手帳A <input type="checkbox"/> 精神障がい 1、2級 <input checked="" type="checkbox"/> 要介護3以上 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		

① 緊急 連絡先 (許可を得て 記入してく ださい)	①	氏名	中間 一郎	続柄	長男	電話番号	(自宅)244-0000 (携帯)090-1234-5678	
		住所	中間市中間〇丁目〇番〇号					
	②	氏名	中間 二郎	続柄	次男	電話番号	(自宅)244-0000 (携帯)090-1234-5678	
		住所	中間市中間〇丁目〇番〇号					
	支援する 人・団体 (許可を得て 記入してくだ さい)	①	氏名	支援 A子	電話番号	(自宅)244-0000 (携帯)090-1234-5678		
			住所	中間市中間〇丁目〇番〇号				
②		氏名	支援 B太	電話番号	(自宅)244-0000 (携帯)090-1234-5678			
		住所	中間市中間〇丁目〇番〇号					

② 避難場所 までの経路	地図、図面等の貼付・記載欄
	<p>※文字だけや地図の貼り付け等でも可</p>

※裏面もあります。

③	避難場所	〇〇小学校
④	その他 特記事項	足が悪く避難に時間がかかる 目が見えにくい 耳が聞こえにくい 等

中間市長宛

私は、記入した内容について、誤り等がないこと及び下記の留意事項を確認し、避難の支援、安否の確認、その他の生命又は身体を災害から保護を受けるために、^{こべつひなんけいかく}個別避難計画を作成及び^{ひなんしえんとうかんけいしゃ}避難支援等関係者（消防、警察、自主防災組織、民生委員・児童委員等）に提供することに同意します。

令和 ○年 ○月 ○日 (本人署名) 中間 太郎

本人が署名できない場合は代理人が署名してください。

⑤

《本人が署名できない場合》

(代理人署名) _____ (本人との関係) _____

【 留 意 事 項 】

●^{こべつひなんけいかく}個別避難計画は、^{ひなんこうどうようしえんしゃ}高齢者や障がいのある方（避難行動要支援者）の円滑かつ迅速な避難を図るため、^{ひなんしえん}避難支援を行う人や避難先等を記載等した計画です。

この計画は、①平常時は^{ひなんしえんとうかんけいしゃ}避難支援等関係者に、②災害が発生し、又は発生するおそれがある場合には、避難支援等の実施に必要な限度で、避難支援等関係者その他の者に提供します。

●個別避難計画の作成及び提供に同意することにより、^{ひなんしえんとうかんけいしゃ}避難支援等関係者から災害が発生し、又は発生するおそれがある場合における避難行動の際の支援を受ける可能性が高まりますが、避難支援等関係者自身やその家族などの安全が前提のため、同意によって、災害時の避難行動の支援が必ずなされることを保証するものではなく、また、避難支援等実施者などの関係者は法的な責任や義務を負うものではありません。

●緊急連絡先、支援する人に記入される場合は、あらかじめ関係機関に情報が提供されることの許可を得てください。

①緊急連絡先・支援する人

・緊急連絡先

災害時等に、本人と連絡がとれない場合に連絡する連絡先を記入してください。

・支援する人

災害が発生し又は発生するおそれがあるときに、本人へ避難の声かけや避難行動等の支援を行っていただく方を記入してください。

《支援する人が行う支援内容の具体例》

(1)災害時の支援

- ◆目や耳の不自由な方にもわかるよう、避難指示などの災害情報を伝えます。
- ◆避難場所への誘導（付き添いや助け合い）
- ◆安否の確認
- ◆避難所での配慮（避難生活への手助けや相談対応）など

(2)平常時の支援

- ◆日頃からの声かけ、見守り
- ◆災害が発生したときに備えた準備活動

《注意》

支援する人には「できる範囲での支援」をお願いするものであり、責任を負わせるものではありません。

ご自身の安全を第一に優先し、支援は、安全が確保できている時期に実施するよう、お願いいたします。

※緊急連絡先、支援する人に記入される場合は、あらかじめ関係機関に情報が提供されることに同意をいただってください。

②避難場所までの避難経路

どのように避難をするのか、本人、家族及び支援する人等と本人の状況を踏まえて、災害のリスクをハザードマップ等で確認し、検討していきます。記入方法は、地図の貼付や作図、文章（例：「自宅から〇〇通りを北上し、〇〇避難所へ向かう」）で記載等、どのような方法でも問題ありません。

③避難場所

避難所や親戚・知人宅等様々な場所があるので、避難経路と併せて検討して記入します。

(風水害・土砂災害の場合)

避難所に行くことだけが避難ではありません。自宅が浸水や土砂災害の危険性がない場所、頑丈な建物の高層階にお住まいの場合は、自宅から出ない（在宅避難）、自宅の上層階などの場所へ避難する（垂直避難）、ホテル、親戚や知人宅へ避難する（分散避難）などご自身にあった避難場所を考えましょう。

④その他特記事項

身体の状態や治療中の病気等、避難の際に気をつけることを記入します。

⑤個別避難計画作成及び情報提供の同意

安否の確認や避難の支援等を受けるためには、個別避難計画の作成及び避難支援等関係者へ提供することに、本人又は家族等の同意が必要になります。

同意をされる場合は、記入した内容に誤り等がないか、また、留意事項を確認した上で、署名欄に記入をお願いいたします。

避難行動要支援者は、避難支援等実施者から災害が発生し、又は発生するおそれがある場合における避難行動の際の支援を受ける可能性が高まりますが、避難支援等実施者自身やその家族などの安全が前提のため、同意によって、災害時の避難行動の支援が必ずなされることを保証するものではなく、また、避難支援等実施者などの関係者は、法的な責任や義務を負うものではありません。

4 個人情報の取扱いについて

市から提供した避難行動要支援者名簿や個別避難計画等は、非常に大切な個人情報です。支援に関係のない人に情報が漏れることのないよう、管理には十分な注意をお願いします。

個人情報の取り扱いについてルールを決めて管理しましょう

ルールに入れておきたい項目は以下のとおりです。

① 個人情報の管理や必要な場所での保管について

個人情報管理責任者…自主防災組織会長等

② 取得する個人情報の範囲について

氏名、生年月日等の基本情報や緊急連絡先、家族構成や支援を必要とする理由（要介護や障害の状況、病歴等）、必要支援内容等

③ 個人情報を共有する範囲について

自主防災組織、民生委員・児童委員や支援者等

④ 利用目的

要支援者から聞き取り等によって収集する個人情報は、支援を行うために必要な範囲内としましょう

個人情報を取得するときは、使用目的を本人に伝えましょう

使用目的をきちんと相手にお伝えすることにより、安心して情報を提供してもらえることにつながります。

事前に本人の同意が得られた範囲内で情報を共有するようにしましょう

① 支援者等と情報共有することについて同意を得ておきましょう

情報の共有は個人情報管理責任者や支援者等支援のための必要最小限とするとともに、誰に対し、情報共有するかについて、本人の同意を得ておいてください。

② 情報共有する内容についても、同意を得ておきましょう

どういった支援者等と情報共有するのか、あらかじめ伝え、同意を得ておきましょう。

5 災害時に必要な準備

自らの安全を確保するため、できる範囲で防災対策に取り組みましょう。

◆具体例

- 家具の転倒防止
- 3～4日分の必要な物資等の備蓄（食料、飲料等）
- 非常時の持ち出し品の準備（日頃から服用している薬や、かかりつけ医のメモなどを入れて、分かりやすい場所に置きましょう）
- 地域の人と積極的なコミュニケーションを。
（日頃から近所の方々とあいさつを交わすなど、積極的に声をかけて交流を深め、災害時に必要な支援について知ってもらいましょう）